

## 平成31年度 全国学力学習状況調査 結果

〔4月18日実施 対象：第3学年〕

今回の結果では、国語、数学、英語全ての教科において、全国・群馬県の平均と比較して大きく上回る結果となりました。また、学力差を表す数値が低く、校内の学力差が小さいといえます。以下に、今回実施された国語、数学及び英語の3教科における本校の結果について概要をお知らせします。

### 【国語】

どの問題の正答率も高く、生徒は基礎的な知識を概ね身に付けていると考えられる結果となりました。「読むこと」の正答率が特に高く、「話すこと・聞くこと」でも全国・群馬県の平均を大きく上回りました。生徒の活用力の高さと、どんな問題にも解答しようとする生徒の意欲の高さを読み取ることができた結果となりました。

また、質問紙調査では「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した生徒が多く、本校の生徒は、授業中の話し合い活動や発表などの相互交流を通して理解を深めることができていると考えられます。

一方で、「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、他の問題に比べると若干の課題が残りました。今後は、発表や自己表現の場面において「書く」活動に意識化をし記述力の育成を心掛ける等、学習活動を精選し、指導事項を焦点化することで、更なる学力の伸長を目指したいと考えます。

### 【数学】

反比例の表から式を求める問題を筆頭に、総合的・発展的に考察する問題まで高い正答率となっています。特に、資料を整理する問題、数学的な表現を用いて説明する問題、論理的に考察して証明する問題で、全国平均を大きく上回りました

質問紙調査では、「数学の勉強は大切だと思っている」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒が大変多く、意欲が高い生徒が多いと言えます。「数学の証明を書く際に、根拠を明らかにするようにしている」生徒も多く、これまでの授業で指導されたこと、小テストや定期考査などに臨む日頃の姿勢が反映されていると考えられます。

一方で、「与えられたグラフ上の点から関数を求める問題」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」において、他の問題と比べると若干の課題が残りました。これらの内容については、授業中に復習の機会を設けるとともに、これから学習する単元でさらに定着できるようにしていきます。さらに、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する場面を意図的に取り入れていくことで、更なる学力の伸長を目指したいと考えます。

## 【英語】

調査の全体を通して、全国・群馬県の正答率よりも高い正答率となっています。全国・群馬県で正答率が低い問題ほど、本校の正答率が大きく上回る傾向が見られ、全国の生徒が苦手とする領域や問題が本校の強みとなっている傾向が見られます。特に「聞くこと」の正答率が特に高く、英語の会話やスピーチを聞いて、その内容を理解して適切な選択肢を選ぶことができます。

また、質問紙調査では、「英語の勉強が好き」「英語の勉強は大切だと思っている」「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒が大変多く、意欲が高い生徒が多いと言えます。「1，2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて概要や要点を捉える活動が行われていた」と感じている生徒も多く、これまでの授業で学習してきたことが反映されていると考えられます。

一方で、「話すこと」において、他の問題に比べると若干の課題が残りました。今後は授業の中で、英語を話す場面において正しい文法を使い、正確性が高まるよう話した内容を書かせるなど、指導事項を焦点化することで、更なる学力の伸長を目指したいと考えます。

## 【全体総括】

今回の結果では、国語、数学、英語全ての教科において、全国・群馬県の平均と比較して大きく上回る結果となりました。四ツ葉学園では日頃から、「なぜそうなるのか」「なぜそうであるのか」を考え、気付き納得することを大切に授業を行っています。このことが、思考力や判断力、表現力を高めるために非常に有効であることが、ここ数年の結果からも明らかとなっています。今後も、「グループでの話し合い」「調べたことをレポートなどにまとめる」等、各教科の内容はもちろん、学習方法についても学ぶことができる機会を充実させ、生徒の持っている様々な力をさらに伸長していきたいと考えています。

また、四ツ葉学園では、『四ツ葉の学び』（「知識・技能の確実な習得を基にした思考力、判断力、表現力を育成する学び」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を育成する学び」）を意識した授業を全教員で行い、生徒の学力を着実に付けることを大切に授業を行っています。この結果、これまでの本調査においても知識の定着と理解の深化、思考力・表現力・判断力等の活用力の向上に成果を上げてきました。一方で年度ごとに特有な課題も見られています。今後は学年に応じた課題について焦点化した指導を行い、生徒の学力の更なる伸長を目指していきます。